『原価計算研究』

〈注意事項〉(2022 年 7 月改訂)

- (1) 『原価計算研究』への投稿にあたっては、必ずこのフォーマットを使用してください。なお、本注意事項の頁と次の頁からの各種指示文章は投稿の際には削除してください。
- (2) 1 頁目に、日本語による主題、副題(あれば)、筆者名、要約、キーワード、英語によるタイトル、サブタイトル(あれば)、筆者名、要約、キーワードを記述し、2 頁目より本文文章等を記述してください。但し、投稿時は筆者名、所属を空欄にしてください(日本語・英語表記とも)。
- (3) 2 頁目以降の提出論文の標準原稿頁数は、本フォーマットを使用し、10 頁まで、ただし執筆要項に示すやむをえない事情がある場合は12 頁までは許容します。この頁数には、本文文章、図表、注、参考文献リスト、謝辞・付記が含まれます。*この注意事項の頁を削除すると、本文文章の開始頁の頁番号が1となります。
- (4) 本フォーマットは、42 文字×40 行=1,680 字となっています。フォントは、日本語は MSWord による MS 明朝、英語は MS Word による Times New Roman とし、フォントの大きさは、本文(節・項・款のタイトルのフォントは以下の指示に従ってください)、注、参考文献リスト、謝辞・付記等すべて 9 ポイントとしてください。フォーマットを使用していても、この書式に従っていない場合は、フォーマットを使用していないものとします。
- (5) 図表は本文中の適切な箇所に入れてください。そのうえで図表の使用行数を表記してください。図表のフォントサイズは 6 ポイント以上としてください。
- (6) 1 頁目の筆者所属は脚注機能を使用してください(投稿時には記載しないでください)。2 頁目以降の注は Word の<mark>脚</mark> <u>注機能を使用しない</u>でください。
- (7) 2 頁目以降には、**筆者が特定できる表現は含めないでください。**投稿時には謝辞・付記は論文本文に入れず、該当 箇所に使用行数分のスペースを入れてください。

『原価計算研究』

(9pt. 1 行空け)

主題 (16pt.ボールド体)

ペースとします。

全角ダッシュ, 半角ス

— 副題(あれば) (14pt. ボールド体)

(9pt. 1 行空け)

第一筆者名*(以下出薬の提合出薬者名 †)(1/n+)

投稿時は筆者名を

者 単行石 (,以下共有の物口共有行石)(Itpt.)
要約 (←10.5pt.ボールド体) 150 字程度の論文要旨(9pt.)□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
キーワード (←10.5pt.ボールド体。↓5~10 個程度。)
Title: Subtitle (16pt. Bold) 投稿時は筆者名を書かない。
Title: Subtitle (16pt. Bold) **Example 16pt. Bold
投稿時は筆者名を書かない。

投稿時は所属先を書

20XX 年 X 月 X 日受付 20XX 年 X 月 X 日受理 * 〇〇大学〇〇学部教授

† △△大学△△学部教授

Submitted: September 21, 20XX Accepted: December 25, 20XX

Professor, College of Economics, OO University

Professor, Faculty of Business Administration, △△University

節の数字は全角,直 後に1コマスペースを 空けます。

> 節タイトル(14pt. ボールド体。節の直前・直後は1行空け T

る。)

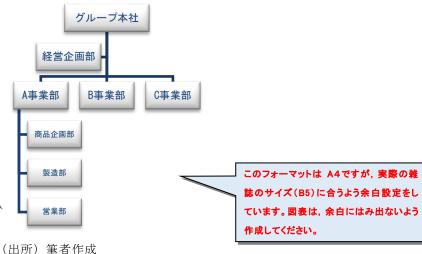
款の数字と括弧は 半角,直後に1コマ スペースを空けま す。

頃の数字とピリオドは全角, 直後にスペースは空 けません。

- 1. 項タイトル(12pt.ボールド体。節の直後行は1行空ける。)
- (1) 款タイトル(10.5pt.ボールド体。款の直前・直後行は空けない。)

図表内で使用する文字の大きさについて は、「6 ポイント以上」を大きさの目安とし てください。筆者が作成したオリジナルな 図表には「筆者作成」と明示してくださ い。図表タイトルと図表は中央揃え、図表 出所は、図表の左揃えとして下さい。図 表の下は1行空けとします。

図表 1 組織図(15 行使用)



『原価計算研究』

(謝辞) <mark>使用行数 3 行</mark> 謝辞 謝辞
(注) □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

【参考文献】

吉田良三. 1929. 「原価計算論」(増地庸治郎・吉田良三・太田哲三. 『経営経済学』改造社: 297-333).

Ittner, C. D., and D. F. Larcker. 1998a. Innovations in performance measurement: Trends and research implications. *Journal of Management Accounting Research* 10: 205-238.